

対話型オンライン保育合同研究会 保育施設基本情報

園・施設名	社会福祉法人ゆうゆう 幼保連携型認定こども園 すみよし愛児園
経営主体	社会福祉法人ゆうゆう
所在地	〒400-0851 山梨県甲府市住吉3丁目24-20
定員	50名 (1.5ヶ月～就学前) ○保育認定区分(保育園) 3号認定 0歳児(0～3) 1歳児(10) 2歳児(10) 2号認定 3歳児(10) 4歳児(10) 5歳児(10) 計50名 ○教育認定区分(幼稚園) 1号認定 満3歳児～3歳児(5) 4歳児(5) 5歳児(5) 計15名
理事長名	矢巻 行祥
園長名	矢巻 行祥
採用担当者	矢巻(やまき)・川又(かわまた)
電話番号	055-237-4101
保育理念 保育方針 保育目標	<p>保育理念：～ 人づくり ～</p> <p>素朴に純真に忍耐強く、子どもを軸として連動する絆を結び、未来社会への人づくり、国づくりの基礎(基盤)力を育む</p> <p>保育園は、「働く親の為」というだけの安易な場所ではありません。保育園は、「愛されている確信を一人ひとりの子どもが感じ、安心して充実した日々を過ごし、生きる力をつけ、社会に希望と夢を持てるように支え育てていく場所」です。未来の社会を担う子ども一人ひとりが大切にされる社会を私たち大人が目指し支えられ育った子ども達が同じように続けていけるようにこの地域で存続させます。地域の中で愛され地域と共に社会を築いていく場所であり続けるために子どもを通した幸せの輪を感じながら、自らの成長と共に・・・</p> <p>保育(教育)目標：ONE FOR ALL ALL FOR ONE ひとはみんなのために、みんなはひとりのために…</p> <p>思いやりのある子ども、意欲のある子ども、生活の中で決まりの守れる子ども さまざまな保育・教育が各園で行われていますが、当園は、既存の概念の枠にとらわれることなく 保育者と子どもとの信頼関係を基盤とし、子どもの自由な遊びを通して、感性・表現力・社会性を育てます。「人は人の中でこそ人として育つ」ことを理解し、子どもを取り巻く人的環境(職員・保護者・地域)に重点を置きます。人を大切にし、人に支えられる中で生きていることを感じ、相手を理解し、自らを信じる心の基礎を作ることを目指します。「人を愛せる人」は「人に愛された人」です。 社会の中で多くの人に愛される心の基礎は、今、身に付ける必要があります。 『相手を思いやる心』『相手の気持ちを汲み取り自分を表現できる心』</p> <p>『心』を育てる関わりや環境を… 一人ひとりの子どもが愛されたという確信を持つことが出来る保育… 「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために」という保育目標は、60名(小規模)の定員の保育園だからこそ目指すことが出来る職員全員で取り組んできました。園長は勿論のこと、全職員(職種関係なく)がすべての園児ひとりひとりの家庭環境から日々の成長までしっかり把握し、一人ひとりの成長(心と体)に何が必要なのかを全員が考えられる保育を目指しています (どの園でもあたりまえのようですが、あたりまえだからこそあたりまえに出来ることが大切です)。 保育自体が大きく変わってしまう定員増加をせず、40年以上培ってきた保育に自信を持ち、 60名(小規模)の保育園だからこそ目指すことが出来る保育を、職員・保護者・地域でこどもたちの心に伝えたい!!!</p>
保育環境	「先生→景色がきれいだね。」とある秋の日に園庭を眺めながらボツリと話す年少の男の子。お兄さん、お姉さんが石窯を使ってクッキングをしているおいしそうな香りのする中、紅葉した木々の下で大好きなお友達たちが思い思いに好きな遊びを楽しんでいる姿が視線の先にあります。こうした言葉が自然と溢れてくるような子どもはもちろん大人も過ごしやすく心地良い空間を作っています。又、五感を使って生きる子どもたちにとって家具や手に触れるものは自然の素材が生きたものとなるようにしています。こうした環境の中でゆるやかに時間が流れる日常、子ども達が自分のやりたいことに没頭できる時間や空間を大切にしています。
ホームページURL	http://www.kofu.hokuen-mia.co.jp/hs/sumiyoshi/index.html
事前質問	※《保育の質》についてのお考えをお聞かせください。
	子ども一人ひとりが愛されている確信を持ち、安心して充実した日々を過ごし、生きる力をつけ、社会に希望と夢を持てるように支えていくことが大切だと考えます。その高は保育内容だけでなく、子ども達が過ごす環境や保育士の配置、保育士の保育感も大切になってきます。日本と海外では部屋の面積や職員配置といった基準が全く異なります。国の最低基準はあくまでも最低基準です。目の前にいる子ども達の事に真剣に向かい、子ども達の将来も見据え、今何ができるのか何が必要なのかを考えていくことが重要です。また、日々の中で子ども達の生活がしっかり保障されること、子ども達自身の意欲や興味に十分に満たされる時間や環境が保障されることが大切だと考えています。
	「『保育の質』の向上」のために取り組んでおられることについて、具体的にご紹介ください。
	保育内容については職員の事例を基にみんなで保育感を語り合い、そこに大学教授の先生等に助言を頂いたりしながら検証を重ね職員みんなで共有するようにしています。保育士の配置は全クラス複数担任と例えば年長児は15名に2人配置などしています。日々の生活は子どもが自分の遊びを選択できるようにし、職員もクラス担任関係なく園全体で子ども達の保育をおこなっています。職員の声掛けで子どもが動くのではなく、子ども達の活動や遊びの発展に合わせて生活が流れるようにしています。時間で区切るのではなく、日々は子ども達が作っていくことを大切にしています。
	学生の就活において「職員同士の人間関係」が重視されていることについて、お考えをお聞かせください。
	女性が多い職場ということで気になる方が多いと思います。長く勤務するためには人間関係が良いということは大切かと思いますが、それ以上に保育をする上で職員の人間関係が良いという事は保育に繋がります。職員がしっかりコミュニケーションをとれることで、事故等が防げることもあります。ただ、仲がいいということではなく、職員全員が同じ方向を向き、みんなで子どもについて語り合えることが良い人間関係かと考えます。
乳幼児期における「子どもと保育者の望ましい関係」についてのお考えをお聞かせください。 また、そのような関係を築く上で大切にしていること、実践していることを具体的に教えてください。	
子ども達にとって安心して気持ちを出せる、受け止めてもらえるという関係性の中で様々な人(保育者や友達)物に出会っていきます。子どもに見せたい社会を一人ひとりが想像し、子ども達に毎日の景色として見せていくようにしています。保育者と子どもとの信頼関係を基盤とし、子どもの自由な遊びを通して、感性・表現力・社会性を育てていきます。「人は人の中でこそ人として育つ」ことを理解し、子どもを取り巻く人的環境を大切にします。人を大切にし、人に支えられる中で生きていることを感じ相手を理解し、自らを信じる心の基礎を作ることを目指します。	
生活習慣の自立に向けた援助や関わりで大切にしていることについて、簡単な事例を基にご紹介ください。	
子ども達自身がやらうとしたり、伸びようとする時を大切にしています。排泄・排便に関しても一律に同じ時期での対応や、一日の中でみんなでトイレに行くということではなく、個々のタイミングや興味、成長に合わせて進めていきます。子ども達の力を信じ、大人が先走らずに任せる中で子ども達の育ちを支えています。 1歳児で外に遊びに行こうと靴を履こうとしている子がいました。みんなが外にどんどん出ていく中、時間が経っても自分で履こうと頑張っていました。自分で履けるととても満足気な表情で外に飛び出してきました。大人は早く靴を履かせて外で遊ばせてあげたいという気持ちになりますが、「自分でやりたい」と向き合っている時間も十分に確保するようにしています。	
学生へのメッセージ	社会に求める理想を持ち、実際社会の現実を知る中で現実を理想に近づけるために行動できる人を法人として全力で支援します。必要なものは事業化して地域社会を始め、世界規模で社会のあり方、人としての生き方について考えていく仲間を募集します。